

今を未来に

5月20日土曜授業で親子観劇を実施しました。

夢団の方々をお呼びして、アクアリウムミュージカル「虹色サンゴ」を親子観劇として実施しました。夢団のホームページには次のようにこの作品が紹介されていました。

『水色の魚“サンゴ”は父魚と母魚の深い愛情を受け、仲間の魚たちと幸せな日々を過ごしていた。ある日、魚たちの群れを悲劇が襲う。突然現れた人間たちの漁の網に、魚たちは次々と捕らわれてしまう。父魚と母魚は必死の思いでサンゴを守るが、代わりに二匹は網に捕らわれてしまう。両親、そして仲間たちのいなくなった海。珊瑚礁の砕かれた暗い孤独の海で、サンゴはただ一匹、哀しみに打ちひしがれる。そんな絶望の中、サンゴは片ヒレの無い魚“ポリー”と出会う。汚染された海で、奇形の魚として生まれたポリーだが、彼女は強く、前向きに生きようとしていた。サンゴはポリーと共に、未知なる海へ泳ぎだす決意をする。新しい仲間、生き(る)場所、そして未来を求めて…。小さな魚たちの、大きな海の冒険が始まる。』



また、この劇を作られた脚本・演出家の秋山大介さんは、この作品に次のような願いを込めて作られたそうです。(夢団ホームページより)

『悲しい事故、残酷な事件が後を絶たないこの世の中で、“命の大切さ” “生きることの意味” を改めて、子ども達と共に見つめ直したい…そんな想いでこの作品を創作しました。なぜ、命とはあたりまえに大切なのか…、なぜ、深い苦しみや悲しみを

乗り越えて、生きていかなければならないのか…。現代の子ども達、そして私たちにとって、今もっとも必要なことは“命の教育”に他ならない。テレビやネットで取り上げられるニュースを見るたびに、そう感じずにはられません。生命の故郷、海では今、海洋汚染などにより珊瑚礁が壊滅的な状況に晒されています。海の生物たちの命を担う珊瑚礁…、そして珊瑚に寄り添い生きる魚たちの物語を通じて、“命の大切さ”、“生きることの意味”を見つめ直すキッカケとなってもらえたら…、そして“母なる海に生きる命”に目を向けてもらえたら…そう願っています。』



父親に教えてもらった虹色サンゴを探す冒険に出たサンゴとポリー、冒険の最初に汚された海で出会ったエビと言われる毛ガニ、おかめと呼ばれるウミガメ、何でも知っている物知りのマダコ様。『全ては信じることから始まる』とは言ったものの、3人は限りなく小さな望みを追いかけて、虹色サンゴを探しに出る2人が気になります。その冒険についていきます。ヒレが片方しかなくて、一生懸命

泳いでもふらふらして、回ってしまって、疲れてしまうポリーに「僕だけだったら・・・」と言ってしまったサンゴ、2人は海溝の強い潮の流れに引き込まれ、深海へ流されてしまいます。深海の不思議な生き物に襲われるサンゴ、不思議な光るクラゲに助けられ、ポリーと再開できました。しかし、今度はあの恐ろしいサメに命をねらわれます。再び不思議な光るクラゲに命を助けられ、サメを捕まえたのは、両親を捕まえたあの人間が作った網でした。『勇気、希望を捨てずに未来を見る』『大切なものを輝かせるのは自分』『そばにあるものを大切にする』『希望に光輝く未来を信じて行動する』『命を大切に、周りの人を大切に』・・・たくさんのメッセージを伝えてくれたミュージカルでした。その中にユーモアたっぷりのやりとりがあって、90分間の劇は、あっという間に終わりました。高学年の子どもたちも、「楽しかったよね。」と口々に言葉を残して、観劇が終わりました。



6月17日土曜授業について

来月の土曜授業は、当初保々地区の防災組織の方々にお世話になって、昨年度10月に行った防災フェスタを小学生を中心に行う予定になっていました。しかし、この日程の直前（8日）に防災組織が大きく再編される可能性があるとのことから、保々地区防災組織中心の防災フェスタ開催は難しいという連絡を、先週いただきました。やむを得ない状況と判断し、小中それぞれに防災の取り組みを独自に行うことにしました。

小学校は以下のように計画をしています。

- | | | |
|--------|-------|---|
| 8：20～ | 8：45 | 朝読書・朝の会・基礎学力充実タイム |
| 8：50～ | 9：20 | 拡大版基礎学力充実タイムもしくは教科学習 |
| 9：30～ | 10：30 | 防災教室「内陸型地震 熊本地震から学ぶこと」（仮題）
講師：四日市市危機管理室 田中宏和さん |
| 10：40～ | 11：20 | 各学級で防災ノートを使って、防災について見直す。 |
| 11：30 | | 下校 |

以上のように計画しなおしましたので、公開は体育館で行う防災教室の時間とさせていただきます。また、防災フェスタの時は炊き出しを予定していましたが、中止となりましたので、お昼は各家庭でご用意ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。